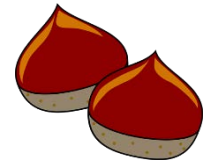




園長だより



あっという間に今年も残すところ4ヵ月となりました。残暑も続きますが、お体にお気を付けくださいね。今月は「信頼」についてお話したいと思います。子供は赤ちゃんの頃から、親を信頼することを学んでいきます。泣いたときによしよしと慰めるお母さん、困ったときにしっかりと抱きしめてくれるお父さんの愛を受けて、親に対する信頼ははぐくまれます。

子育てをする中で、子供を信頼することも大切です。いつまでも親がすべてのことを子供のために行うことはできません。年齢に合わせて、子供が自分自身で選択することを学ばなければなりません。2歳ごろから子供はやっていいことの限度を試すようになってきます。(日本ではイヤイヤ期、アメリカでは **Terrible Twos** などと言いますね) このようなときに、子供が良い選択を自分であることができるように教えていくことが大切です。子供は、誰かが自分を信頼してくれているとわかれば、自分自身のことも信頼できるようになります。自分で何かに挑戦をし、それに成功すると、自信が付きます。

健全に自立するステップが5つあるそうです。1. 親からの信頼を受ける。2. 自信がつく。3. さらに新しいことに挑戦する。4. さらに自立していく。5. 自分ができる自信を持つようになる。

これらのステップを繰り返しながら、成長していきます。ですから、子供が自分でやれば自信がつくことを親が代わりにやってしまったら、失敗から学べることができたり、自分で選択できるような事柄を親が代わりにやってしまうことは子供の成長にとって良くないのです。このように、自分で考え、選択することを小さい時から学ばなければ、大きくなった時に自分で何も決められない大人になってしまう危険性があるのです。

子どもが自分でできることを、代わりにやってあげてしまっただけではいけないだろうかと、私たちは考えてみる必要があるかもしれません。もちろん、なんでも子供に自由にやらせたり、放任していればいいと言っているのではありません。しかし、その子の年にあった選択を自分でできるように、そして、間違った選択をしてしまったら、その結果どうなるかを体験させることが大事なのではないかと言っているのです。例えば、子供が夕食の時間に庭で遊び続けたいと言ったとしましょう。その通りにしてあげるべきでしょうか。それとも、無理やり家に連れていくべきでしょうか。(いつもとは言いませんが、ときには) 子供に、選択させてみるのも一つの方法かもしれません。早く家に入って夕食を食べたらその後にもう一度庭で遊ぶか、サンドイッチなどを作ってあげて今日は庭で食べてみるか、夕食を家で食べた後に家の中で別の遊びをするか、夕食を抜きにして朝まで我慢するか、などの選択肢を与えて自由に選ばせるということもできるかもしれません(もちろん、毎日する必要はありませんし、夕食を抜かせることを必ずしもお勧めしていません。一つの例としてお話ししています)。子供が自立し、自信をもって正しい選択することができるような子育てを心掛けたいものですね。

2018年8月30日

石川三育保育園 園長 ミラー・ジョエル